



産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 6 月 26 日

奈良市長 殿

提出者

住所 大阪府八尾市北亀井町三丁目1番72号

氏名 代表取締役 中山 藤一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6796-1542

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	シャープマーケティングジャパン株式会社 奈良阪選別センター
事業場の所在地	奈良県奈良市奈良阪町2327番地の5
計画期間	令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 3 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 電気機械器具卸売業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 当社全体の売上高 令和元年度 387,985百万円
③ 従業員数	当社全体 4,100 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	当社は、メーカー系販売会社として、販売した複写機等の使用済み下取り機を集荷し、リユース・リサイクルする仕組みを構築し運用しています。このうち、西日本の集荷拠点を奈良市に設け、リユース対象機以外の適正処理を中間処理業者（優良認定業者）に委託しています。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名 報告者所属部署	シャープマターディングジャパン株式会社 総務部	担当者氏名 電話番号	服部 裕史 050-5434-6029
--------------------	----------------------------	---------------	------------------------

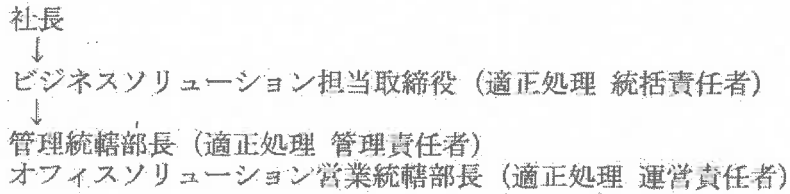
産業廃棄物の種類	(第2面)		(第3面)		(第4面)		(第1～5面)				
	実績・計画	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (t/年計)	優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1 廃プラスチック類	前年実績 計画	461.00t 430.00t					461.00t 430.00t	461.00t 430.00t			
2 金属くず	前年実績 計画	645.00t 600.00t					645.00t 600.00t	645.00t 600.00t			
3 ガラスくず等	前年実績 計画	21.00t 20.00t					21.00t 20.00t	21.00t 20.00t			
4	前年実績 計画										
5	前年実績 計画										
6	前年実績 計画										
7	前年実績 計画										
8	前年実績 計画										
9	前年実績 計画										
10	前年実績 計画										

(別紙)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

使用済複合機等の適正処理の運営管理体制



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (注: 下記以外の産業廃棄物の種類を含め、別紙に記載)

① 現状	【前年度 (令和元年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	461.00 t	645.00 t
	(これまでに実施した取組) 部品交換等のリファインング(整備)によるリユース(再販売)化に取り組んで来ました。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	430.00 t	600.00 t
	(今後実施する予定の取組) リユース(再販売)化の取組みを、国内市場だけでなく、海外向けにも拡大することで、排出を抑制する取組みを進めています。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 集荷した機器の種類毎に保管・排出しています。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上
② 計画	同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 : 該当なし

① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 : 該当なし

① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 : 該当なし

① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 (注: 下記以外の産業廃棄物の種類を含め、別紙に記載)

① 現状	【前年度 (令和 元 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	461.00 t	645.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	461.00 t	645.00 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
優良認定処理業者への委託、及び、現地確認を実施しています。			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	430.00 t	600.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	430.00 t	600.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
優良認定処理業者への委託、及び、現地確認の実施を継続します。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「-」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

